

インフィテグラ株式会社

◆申請のきっかけ

以前にも活用したことがあり、この制度については知っていました。
取引先からのニーズに応えるため、開発を進めていく中で活用できそうな制度であったため申請しました。

◆活用してみて

交付決定した時点(9月下旬ころ)からの助成ではなく、4月まで遡って助成の対象になる点は魅力的でした。開発を常に続けるような会社にとって、交付決定を待つまで何も出来ないのは当初のスケジュールが崩れてしまう。その点で、非常に使いやすかったです。

◆今後申請を希望する企業へアドバイス

人件費・外注費・機械装置・材料費等、モノ作りに必要な費目が助成対象となっているので、扱いやすく、開発ノウハウもしっかりと社内に蓄積できます。自力で新しいモノ作りに挑戦するスタートアップの際は活用すべきです！



企業プロフィール

- ・主要事業
組込みシステム開発、高性能カメラ開発等
- ・設立
平成 22 年
- ・資本金
40,000 千円
- ・従業員数
6 人
- ・所在地
横浜市港北区新横浜 2-2-8
新横浜ナラビル 9F
- ・会社 HP
<http://www.infinitegra.co.jp/>

株式会社高千穂

◆申請のきっかけ

IDEC(横浜企業経営支援財団)からの紹介でこの助成金を知りました。
中小企業としては、新規研究開発において機械費・人件費などが対象になること、集中的に大きな労力をつぎ込むのではなく、通常業務もやりつつ進められる規模で、段階的な開発も対象となることなどから申請しました。

◆活用してみて

国の制度と比較しても、申請手続きが煩雑で難しいとは感じませんでした。
外部評価を受けるために、取組や商品力を細かく記載し説明したことが、結果的に商品のアピール力強化にもつながりました。ただ、5月に申請してから調査・審査を経て、採択時期が夏から秋なので採択時期がもう少し早いと助かります。

◆今後申請を希望する企業へのアドバイス

アイデアはあるが、資金力などの問題で1歩踏み出せない企業に勧められます。交付後、テクニカルショーに優先的に出展できるのも大きい。
商談につながるほかにお客様からの声が聴け、新しいアイデア創出にもつながります。



企業プロフィール

- ・主要事業
建材の開発、リフォーム工事、機能性材料の開発
- ・設立
昭和 49 年
- ・資本金
79,227 千円
- ・従業員数
97 人
- ・所在地
横浜市西区みなとみらい 2-2-1
ランドマークタワー9階
- ・会社 HP
<http://www.takachiho-group.com/>

株式会社ドリーム

◆申請のきっかけ

別業務で横浜市の方と話す機会があり、研究開発に興味があることを伝えるとこの助成金を紹介されました。国や県などの助成金とも見比べ、対象期間が長く助成限度額も大きい横浜市の助成金に申請しました。

◆活用してみた

助成金に採択され、資金的に余裕が出たことで展示会出展などのプロモーション活動に力を注ぐことができました。また、高額な経費だけ助成金に計上し、少額な経費は自費で購入することで書類の作成や原材料の管理が効率的にできました。

◆今後申請を希望する企業へのアドバイス

申請書が審査の重要なポイントなのでわかりやすく記入することはもちろん大切ですが、口頭でないと伝わりにくい点もあると思います。横浜市の制度では審査会等で直接説明できる機会がありとても助かりました。



企業プロフィール

- ・主要事業
音響機器の貸与、音響機器の販売、オリジナル平面波システムの販売
- ・設立
昭和 61 年
- ・資本金
10,000 千円
- ・従業員数
14 人
- ・所在地
港北区新羽町 1694-1
- ・会社 HP
<http://www.dream-pa.jp/>

ヨコキ株式会社

◆申請のきっかけ

大学の先生が考案された「自在座面装置」を基に、移乗支援機能や着座ずれ防止を可能とする車椅子開発を始めました。当初は県の開発促進補助金を受け、その後も開発を継続する必要があったことからいろいろな補助金制度を調べ、このSBIR助成金を申請しました。

◆活用してみた

他の助成金制度との大きな違いは、事前の申請内容調査と審査会でのヒアリングがあることです。事前の調査員による調査では、計画の問題点や課題が整理されることにつながるし、審査会での審査員とのやり取りでは、質疑応答だけとは言え、何かをアピールできるという点で、書類審査だけの制度よりもありがたいと感じました。通常の開発では、あらかじめそこまで計画を綿密に立て、期限や成果を設定して行わないため、それと比較すると、計画通り、厳密に事業計画を完遂することに繋がりました。

◆今後申請を希望する企業へのアドバイス

最初の計画をしっかり立てることが大事です。自社で出来ることにも限りがあり、外部組織をうまく活用すべきです。自社以外の機関(大学、企業、公的機関等)も含めたプロジェクト推進体制をしっかり構築し、予算立てをして計画に臨めば、最後の結果に違いが出てくると思います。



企業プロフィール

- ・主要事業
自動車車体用検査装置の設計・製作 自動溶接組立設備の設計・製作
- ・設立
昭和 19 年
- ・資本金
80,000 千円
- ・従業員数
120 人
- ・所在地
横浜市保土ヶ谷区今井町555
- ・会社 HP
<http://www.yokoki.co.jp/index.html>

ワミレスコスメティックス株式会社

◆申請のきっかけ

横浜市からのダイレクトメールでこの助成金を知りました。開発費を拡充し、自由度のある、これまで以上に広く深い研究開発を行うためには助成金を活用していくことも必要だと考えました。

◆活用してみて

助成金の交付対象となったことで、様々な新しい試験にチャレンジすることができ、開発の幅が広がりました。申請時には開発工程を詳細に記載する事が必要となり、当初未確定な部分も多く苦戦しました。実現可能で適切な目標設定が大切だと感じました。

◆今後申請を希望する企業へのアドバイス

事業計画自体もそうですが、「こういった経費は対象となるのか」ということを事前によく相談することが大切だと思います。悩んだら早め早めに事務局に相談することをお勧めします。



企業プロフィール

- ・主要事業
化粧品 の 製造販売
- ・設立
昭和 55 年
- ・資本金
80,000 千円
- ・従業員数
62 人
- ・所在地
横浜市港南区港南中央通 7-16
- ・会社 HP
<http://www.wamiles.co.jp/>